

■ステラギアのおもな機能一覧

■機材の接続・設定

- 望遠鏡と冷却CCDカメラを同時に制御可能
- 極軸合わせが簡単。弊社、極軸合わせ支援ソフト「POLE for Windows」と同等機能を搭載

■冷却

- 徐冷、急冷を選択して、気温・湿度の状況に応じた最適な冷却が可能

■導入

- 星図上の天体をクリックして導入可能
- 天体以外の任意の位置（星図上）をクリックして導入可能
- 検索天体を即時に星図に中央表示

■フォーカス

- 撮像と独立して露出時間などの設定が可能
- 撮像した画面の縮小/拡大/スクロール
- 恒星データと画像をマッチングし、中心座標や画面の回転角を自動計算
- 画像中心座標から導入位置を補正し、天体を視野中央へ正確に導入
- 撮像した画像の向きに合わせて、望遠鏡の微動ボタンの位置を再配置（手動による設定も可）
- 撮像した画像をドラッグすることで微動が可能
- フォーカスの連続撮影中に、ピーク値のグラフを見ながらフォーカス操作が可能
- ワンタッチで撮像ダイアログに切り替え可能
- フォーカス中の自動ダーク補正が可能

■オートガイド

- キャリブレーション結果を保存すると、撮影時毎のキャリブレーションが不要で、複数の光学系を円滑に切り替え可能
- ガイド中の補正量をグラフ表示でモニタ可能
- オートガイドを中断することなく撮像の続行が可能

■撮像

- 撮像した画像上を範囲選択することで、部分転送（サブレイ）の設定が可能（※1）
- 露出時間、フィルタなどの撮像条件をまとめて設定して撮像が可能
- ワンタッチでフォーカスダイアログに切り替え可能
- 撮像したファイルに自動的に名前を付けて保存可能。ファイル名の生成は撮影日時、天体名などでカスタマイズ可能

(※1) CCDカメラの種類によっては、設定が不可能な場合があります。

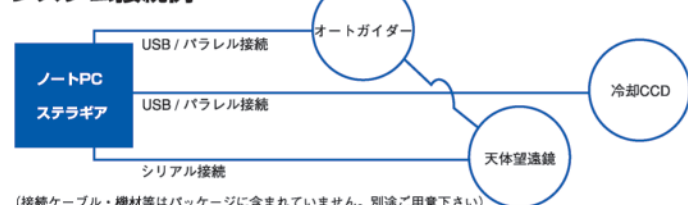
モザイク撮影

- 星図上で、広い視野の分割（モザイク）設定を行ない、順次望遠鏡で導入して撮像が可能
- スケジュール撮影と組み合わせて自動撮影も可能

スケジュール撮影

- 指定した天体を順次導入しながら、指定した撮像バッチで自動撮影が可能

システム接続例



統合型天体撮像ソフトウェア

StellaGear

価格 36,750円（税抜35,000円）

動作環境：推奨システム構成

- パソコン本体：対応OSに適合したパソコン
 - 対応OS：Windows 98SE/2000/Me/XPが搭載されたパソコン
 - ハードディスク：空き容量650MB以上
※インストールには650MB必要ですが、大容量の画像を扱うためにHDD上に仮想記憶を作成するので、画像サイズに応じた空き容量が必要になります
 - モニター：800×600ドット以上
(1,024×768ドット以上/65,536色以上推奨)
- 接続機材によってUSB、シリアル、パラレルポートが必要
※このカタログ中の記事や仕様、本体価格は2004年3月30日現在のものです
※この製品の仕様、および本体価格はお断りなしに変更させていただく場合があります



■星図

- 星図ウインドウをワンタッチで表示/非表示切替可能
- ステラナビゲータの星図表示機能と同等の機能を搭載（Tychoデータを除く。ただしステラナビゲータ6がインストールされている場合は利用可能）
- 新天体・移動天体等のデータアップデートが可能（ステラナビゲータと共用）
- 設定を3つのマクロに登録可能。天体を導入する広視野と、撮像する天体を確認するためのGSC星図を、ワンタッチで切り替えるなどが可能
- 望遠鏡の現在位置マークに同期してカメラの画角を表示

■画像確認/画像処理機能

- 画像撮像後ステライメージと同じインターフェイスで素早く画像処理し、その場で処理結果を確認
- ステラギア用に最適化された自動レベル調整機能
- ステライメージ4に搭載された画像処理機能を移植
- レベル調整/デジタル現像/疑似カラー/カラーバランス/反転/コンポジット/モザイク合成/RGB合成/LRGB・WCMY合成/基準点指定/ぼかしフィルタ/シャープフィルタ/ホット・クールピクセル除去/距離測定/ピクセル情報/2Dグラフ/プリンクコンパレータ/ダーク・フラット補正/演算/画像解像度/画像サイズ/複製/左右反転/上下反転/画像回転/画像情報

■その他の機能

- 音声で撮像の状況を通知

■入出力ファイルフォーマットの対応

- 入力フォーマット
 - FITS 整数8ビット(符号なし)、整数16/32ビット(符号あり/なし)、整数32/64ビット
 - SBIG ST4,ST4X,ST5,ST6,ST7,ST8,ST9,ST10,STV,ST1K(ST1001E), ST2K(ST2000XM), PixCel255(ST5C),PixCel237(ST237)に対応
 - Bitran(オリジナル形式V1.7に対応)
 - TIFF(カラー8/16ビット モノクロ8/16ビット)
 - JPEG, BMP, DIB, GIF, PNG
- 出力フォーマット
 - FITS 整数8ビット(符号なし)、整数16/32ビット(符号あり/なし)、整数32/64ビット
 - TIFF(カラー8/16ビット モノクロ8/16ビット)
 - JPEG, BMP, DIB, GIF, PNG

対応冷却CCDカメラ

- | | |
|---|--|
| ビットラン：BJ-30L, 30C/BJ-31L, 31C
BJ-40L, 40C/BJ-41L, 41C
BJ-42L, 42C
BT-211E, 211LE, 213E, 214E
BT-218ME, 241L, 241C, 216CE
BT-217E, 219E, 254B, 253B | SBIG：ST-5C/ST-237A
ST-7シリーズ
ST-8シリーズ
ST-9シリーズ
ST-10シリーズ
ST-1001E/ST-2000XM
フィルタホイール CFW-8A |
|---|--|

ビットランのカメラの接続には
メーカーオプションが必要な場合があります
撮像用、ガイド用に異なるメーカーのカメラを混在可

対応望遠鏡

- ビクセン：スカイセンサー2000PC
高橋製作所：Temma PC / Temma PC Jr. / Temma 2 / Temma 2 Jr.
(※2) 機種によっては、すべての機能が利用できない場合があります。

ステラシリーズとの関係



AstroArts

開発/発売元 株式会社アストロアーツ

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12
富ヶ谷小川ビル1F

TEL:03-5790-0873 FAX:03-5790-0877

http://www.astroarts.co.jp/

お取り扱い店

天体撮像の常識が変わる、ステラギアが変える

統合型天体撮像ソフトウェア

StellaGear

http://www.stellagear.com/

「手軽に」天体撮像を楽しむ

フィールドでの撮像は「天候」に左右されます。また撮像のチャンスは待ってくれません。しかし複数のソフトを組み合わせた従来環境では、導入から撮像までのステップにおいて、画面を切り替えたり機材の状態を確認したり煩雑な操作が要求されます。うまく操作できない時、ふと「天体を撮像したいのに、いったい何をしているんだろう…」と思いつつ、時間を無駄に過ごしたことはありませんか？

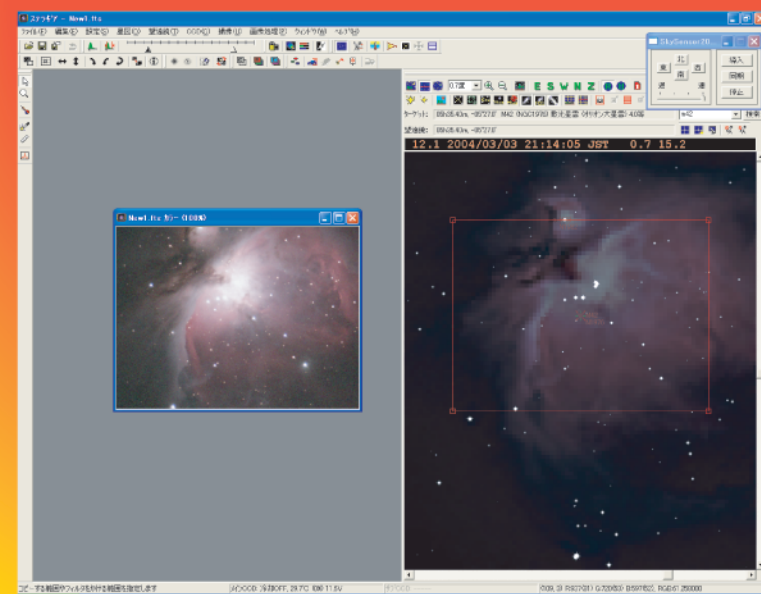
今、「ステラギア」がその常識を変えます。とにかく素早く、とにかくシンプルに、「撮像まで」はあくまでも「準備」であること。この「あたりまえ」なことが「ステラギア」の開発コンセプトです。

あなたは、思う存分撮像を楽しんでください。あとのことは「ステラギア」にまかせて。

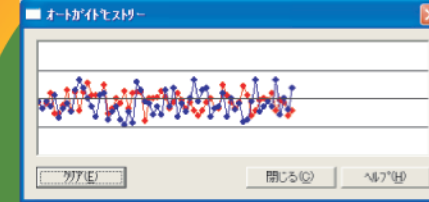
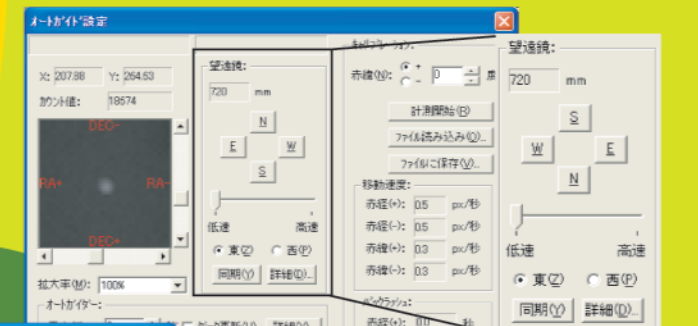
AstroArts

Overview of StellaGear ステラギア Gear World

「ステラギア」を使った新しい撮像の世界



星図で狙った視野をピタリと導入



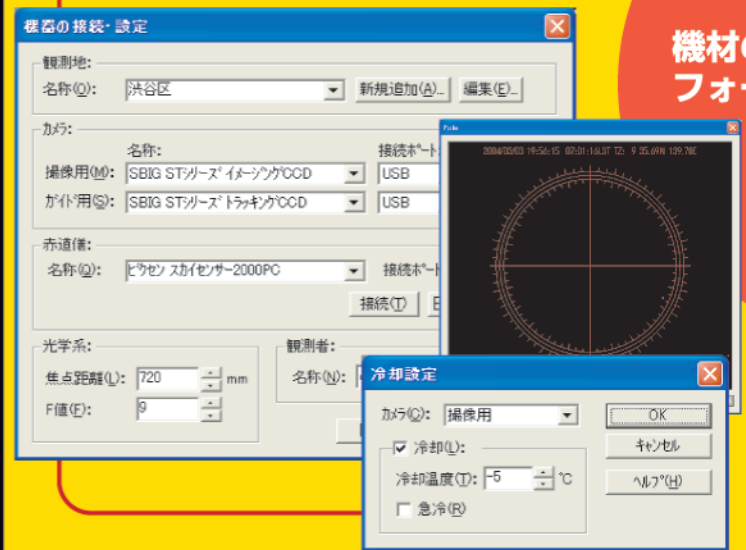
「オートガイド」

画像の向きに合わせて微動ボタンの位置が自動的に変わります

- キャリブレーション結果を保存すると、撮影時毎のキャリブレーションが不要で、複数の光学系を円滑切り替え可能
- ガイド中のスレをグラフ表示でモニタ可能
- オートガイドを中断することなく連続撮像が可能

「機器の接続・設定」

- 望遠鏡と冷却CCDの両方を同時に制御可能
- 極軸合わせが簡単。弊社「極軸合わせ支援ソフト POLE」と同等機能を搭載
- 徐冷、急冷を選択して、気温、湿度の状況に応じた最適な冷却が可能



「撮像まで」

機材の接続・設定/導入/フォーカス/フレーミング

「導入」

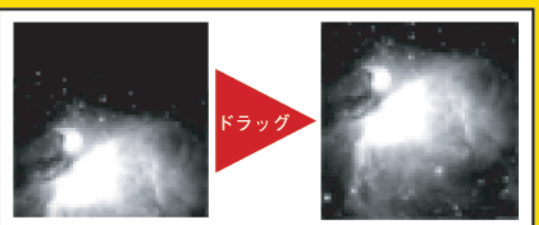
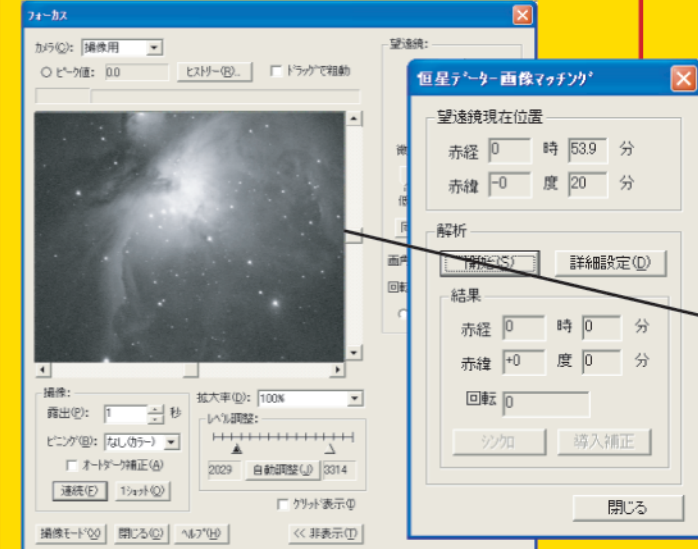
2ステップで望遠鏡を目標の天体に導入



1. 星図上の天体(場所)をクリック
2. 導入ボタンクリック
3. 導入完了

- 星図上の天体をクリックして導入可能
- 天体以外の任意の位置(星図上)をクリックして導入可能

「フォーカス」

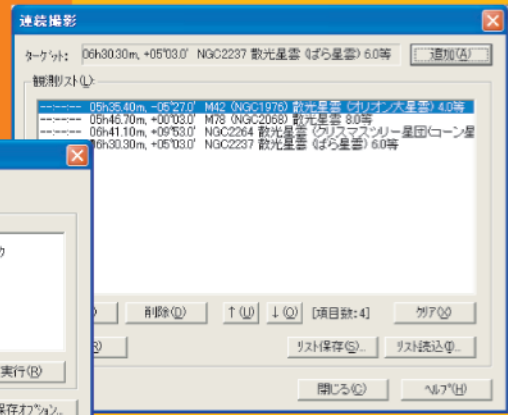
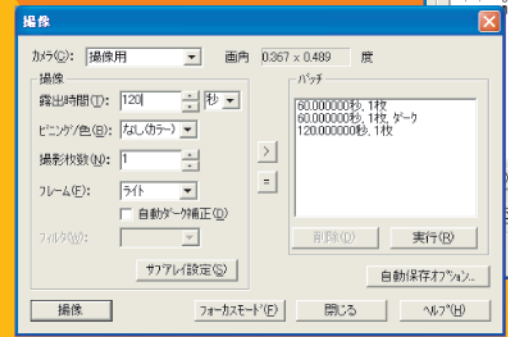


● 撮像した画像をドラッグすることで、微動が可能。簡単に位置合わせができます

- 恒星データと画像をマッチングし、中心座標と画面の回転角を自動計算
- 画像中心座標から導入位置を補正し、天体を視野中央へ正確に導入
- 撮像した画像の向きに合わせて、望遠鏡の微動ボタンの位置を再配置(手動による設定も可)

「多彩な撮像機能」

モザイク撮影 / スケジュール撮影



「撮像」

- 露出時間、フィルタなどの撮像条件を、まとめて設定して撮像が可能
- 撮像した画像にファイル名を自動的につけて保存可能。ファイル名生成は撮影日時、天体名などでカスタマイズ可能
- 指定した天体を順次導入しながら指定した撮像バッチで自動撮影が可能
- 星図上で視野の分割(モザイク)設定を行ない、順次望遠鏡で導入して撮像が可能

「画像確認/画像処理」

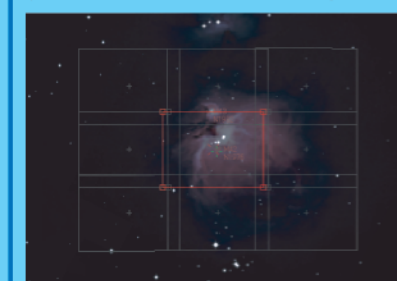
(ステライメージからの移植)



- 画像撮像後、ステライメージと同一インターフェイスで素早く画像処理し、その場で処理結果を確認
- ステラギア用に最適化された自動レベル調整

「星図」

(ステラナビゲータからの移植)



- 星図ウインドウをワンタッチで表示/非表示切替可能
- ステラナビゲータの星図表示機能と同等の機能を搭載
- 設定を3つのマクロに登録可能。天体を導入する広視野と撮像をする天体を確認するためのGSC星図を、ワンタッチで切り替えるなどが可能

「ステラシリーズ直系の機能」

星図/画像処理/画像確認